



# かごしまの仏たち

〜 守り伝える祈りの造形 〜

黎明館企画特別展

The Buddha of Kagoshima

平成29年 **9.28(木) - 11.5(日)**

9:00～18:00【入館は17:30まで】 初日は10:00開場 休館日(10/2・10/16・23・25・30)

黎明館2階 第2特別展示室

一般 800円(600円) 高校・大学生 500円(350円) 小学生以下 無料

※団体20名以上 前売券料金

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

※黎明館は、平成29年10月14日(土)～10月15日(日)に「かごしまの仏たち」をテーマにした特別展示を開催いたします。

## 黎明館企画特別展 かごしまの仏たち The Buddha of Kagoshima ~守り伝える祈りの造形~



多聞天 持国天 広目天 増長天

木造四天王立像(国分文化庁蔵) 重要文化財

**関連プログラム** 座談会・シンポジウム・展示解説講座終了後には、展示場にて展示解説を実施(40分程度、団体観覧料が必要)

**記念講演会 入場無料**

テーマ **「絵解き ほとけの世界とその造形」**

- 日時 / 平成29年10月7日(土) 13:30～15:00
- 会場 / 黎明館2階 講堂(245席)
- 講師 / 東京芸術大学大学院教授 藤白 佐斗可氏

**記念シンポジウム 入場無料**

テーマ **「鹿児島島の仏像を考える」**

- 日時 / 平成29年10月21日(土) 13:30～15:30
- 会場 / 黎明館2階 講堂(245席)
- パネリスト / 熊本県立美術館学芸員 豊見島 文化財調査員 青木 芳孝氏、佐賀県立博物館学芸員 藤原 正博氏、福岡市博物館主任学芸員 末吉 真美氏

**企画特別展 展示解説講座 第1回 入場無料**

テーマ **「守り伝えるかごしまの仏たち」**

- 日時 / 平成29年10月14日(土) 13:30～15:00
- 会場 / 黎明館3階 講堂(80席)
- 講師 / 黎明館主任学芸員 切原 真大氏

**企画特別展 展示解説講座 第2回 入場無料**

テーマ **「薩摩藩仏教史論」**

- 日時 / 平成29年10月28日(土) 13:30～15:00
- 会場 / 黎明館3階 講堂(80席)
- 講師 / 黎明館調査史料室長 栗林 文夫氏

**アクセス**

- JR鹿児島駅から徒歩15分
- JR鹿児島中央駅から車で15分
- 鹿児島空港から車で50分
- 市電「市役所前」下車徒歩5分
- バス「薩摩義士町前」下車すぐ、「市役所前」下車徒歩5分(駐車場)縣国神社鳥居を右折し直進(普通車125台・バス20台) ※駐車場は、11月24日(土)～11月25日(日)に「かごしまの仏たち」を開催いたします。



**問い合わせ先**

鹿児島県歴史資料センター黎明館 ☎099-222-5100 (内線)

〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号

<http://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/>

第一章

飛鳥〜平安 時代の仏たち

全国には、多くの仏像が残っており、その美しい姿と深い精神性に、人々は魅了され、人気の仏像もごさいます。ところが、鹿児島では、明治期の廃仏毀釈などによって、仏像は全て失われたかのように考えられ、遠い存在と思われてきました。今回、鹿児島県内の多くの市町教育委員会や博物館・美術館などの協力を得て、仏像調査を行ったところ、それぞれの地域で守り続けられている仏像が、予想以上に多く残っていることが分かり、鹿児島島の仏像を集めた本格的な展示会を初めて開催できることになりました。

現在に残る希少な鹿児島島の仏像を、宗教的な観点だけでなく美術的な視点からも紹介し、それぞれの様々な歴史を秘めた仏像が、身近にあることを知っていただければと考えています。また、時代ごとに異なる仏像の様式や特徴など、その違いやおもしろさ、美しさを味わい、鹿児島島の美術・工芸の魅力に触れる機会にさせていただいたら幸いです。



吹上田尻の金剛菩薩立像 (個人蔵・香川県内市)



根音堂の本満菩薩半跏像 (個人蔵・香川県)

かごしまの仏たち 黎明館に降臨



正岡寺跡の石仏 (個人蔵・鹿児島市)



本道阿弥陀三尊像 (鹿児島市立美術館・鹿児島市)

第二章

鎌倉〜南北朝 時代の仏たち



本道阿弥陀三尊立像 (個人蔵・鹿児島市)



本道文殊菩薩坐像 (個人蔵・伊佐市)



本道阿弥陀如来立像 (鹿児島市立美術館)

第三章

室町 時代の仏たち



本道薬師如来像 (個人蔵)



本道阿弥陀二尊像 (個人蔵・鹿児島市)



本道勝軍地藏 (個人蔵)

現在に残る 希少な仏像の魅力に迫る。

第四章

安土桃山〜江戸 時代の仏たち



本道阿弥陀如来立像 (鹿児島市長瀬町)



本道地藏菩薩立像 (持軍地藏蔵) (鹿児島市長瀬町)

第五章

仏像修復と新納忠之介



本道杉重房像(模刻) (鹿児島市長瀬町)

\* 印刷は鹿児島市長瀬町文化財課